

# 2019年12月期 第3四半期決算 補足資料

**GMO** AD PARTNERS

STOCK CODE: 4784

代表取締役社長 橋口 誠

常務取締役 菅谷 俊彦

1

結論と要約

2

決算概要

3

事業概況

4

事業トピックス

5

参考資料

1

結論と要約

2

決算概要

3

事業概況

4

事業トピックス

5

参考資料

連結業績  
(第3四半期累計)

売上高	:	25,779	百万円	前年同期比:	102.2%
営業利益	:	280	百万円	前年同期比:	90.7%
経常利益	:	306	百万円	前年同期比:	84.2%
最終利益	:	197	百万円	前年同期比:	111.3%

エージェンシー事業

大手顧客向けサービスは第2四半期に続き好調維持。  
SMB向けは新自社商材へ体制シフトも計画未達。体制強化へ向けて引き続き開発進める

メディア・アドテク事業

売上高・売上総利益前年同期比上回る。  
自社商材AkaNe・ReeMoが回復傾向

通期に対する進捗

売上はほぼ計画通りに進捗

メディア・アドテク事業の回復により営業利益はプラス。

経常利益は昨年の一時的収益を除くと前年同期水準

(百万円)

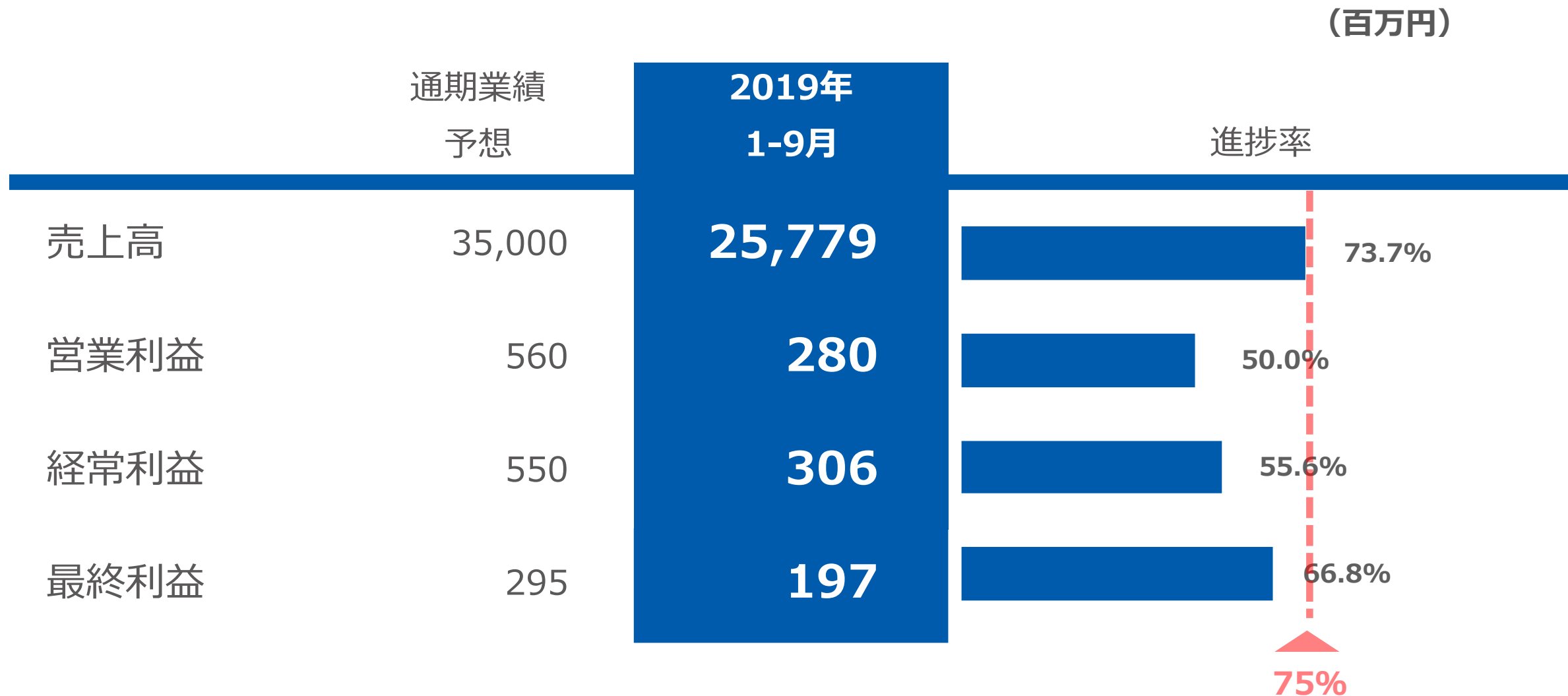
	2018年 7-9月	2019年 7-9月	前年比
売上高	8,426	<b>8,289</b>	98.4%
営業利益	28	<b>30</b>	107.1%
経常利益	68	<b>29</b>	42.6%
最終利益	20	<b>0</b>	0.0%

売上高・最終利益は前年同期を上回る

(百万円)

	2018年 1-9月	2019年 1-9月	前年比
売上高	25,222	<b>25,779</b>	102.2%
営業利益	308	<b>280</b>	90.7%
経常利益	363	<b>306</b>	84.2%
最終利益	177	<b>197</b>	111.3%

トップラインは順調に進捗も、SMB向け自社商材の体制シフトにより粗利率低下で利益に影響



1

結論と要約

2

決算概要

3

事業概況

4

事業トピックス

5

参考資料



	2018年 1-9月	2019年 1-9月	前年比	(百万円)
売上高	25,222	25,779	102.2%	
売上原価	20,090	21,210	105.6%	
売上総利益	5,131	4,568	89.0%	
（売上総利益率）	20.3%	17.7%	▲ 2.6Pt	
販売費及び一般管理費	4,823	4,288	88.9%	
（販管費率）	19.1%	16.6%	▲ 2.5Pt	
営業利益	308	280	90.7%	
（営業利益率）	1.2%	1.1%	▲ 0.1Pt	
経常利益	363	306	84.2%	
当期純利益	177	197	111.3%	

	2018年 12月末	2019年 9月末	前期末比 (百万円)
流動資産	8,532	7,933	93.0%
現金及び現金同等物	4,241	4,010	94.6%
固定資産	2,561	2,614	102.1%
資産合計	11,094	10,547	95.1%
流動負債	5,575	4,842	86.9%
固定負債	415	579	139.5%
負債合計	5,990	5,422	90.5%
純資産	5,103	5,125	100.4%
(純資産比率)	46.0%	48.6%	2.6Pt

1

結論と要約

2

決算概要

3

事業概況

4

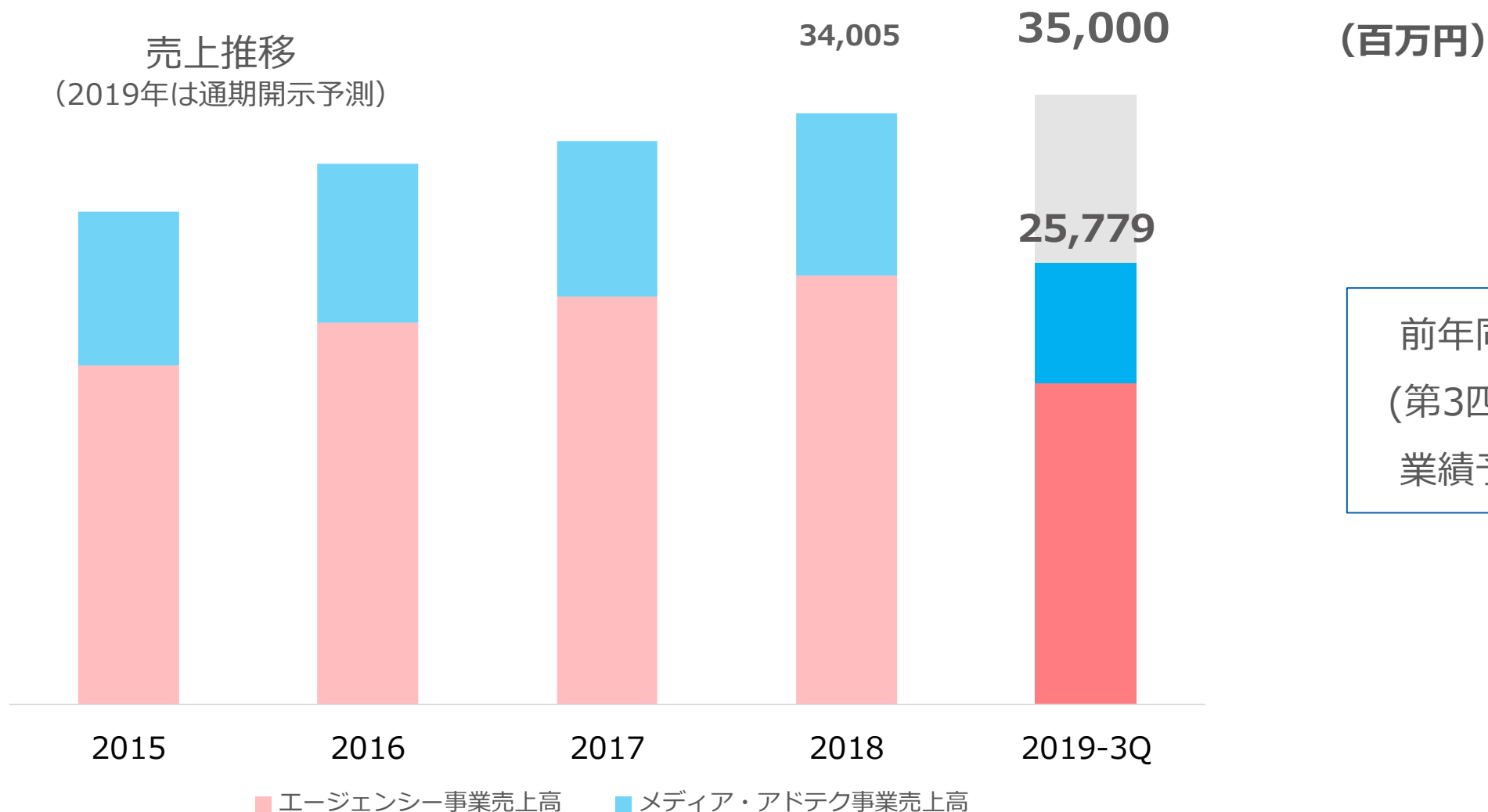
事業トピックス

5

参考資料

通期業績予測に対し、ほぼ計画通りの進捗

売上推移  
(2019年は通期開示予測)

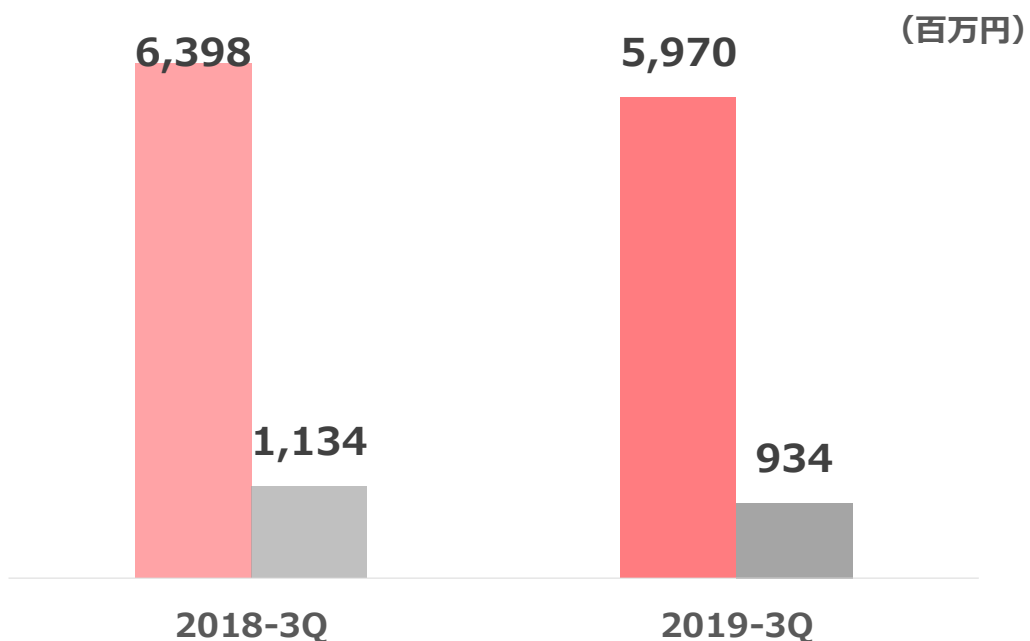


前年同期比 **102.2%**  
(第3四半期累計)  
業績予想進捗 **73.7%**

大手顧客向けは既存・新規からの受注好調。

SMB向けは収益回復に向けて取り組みを進める

前年同期比売上高(3Q) **93.3%**  
前年同期比売上総利益(3Q) **82.3%**



広告予算が4マス媒体からデジタルへ移行進む

大手クライアントの開拓進む

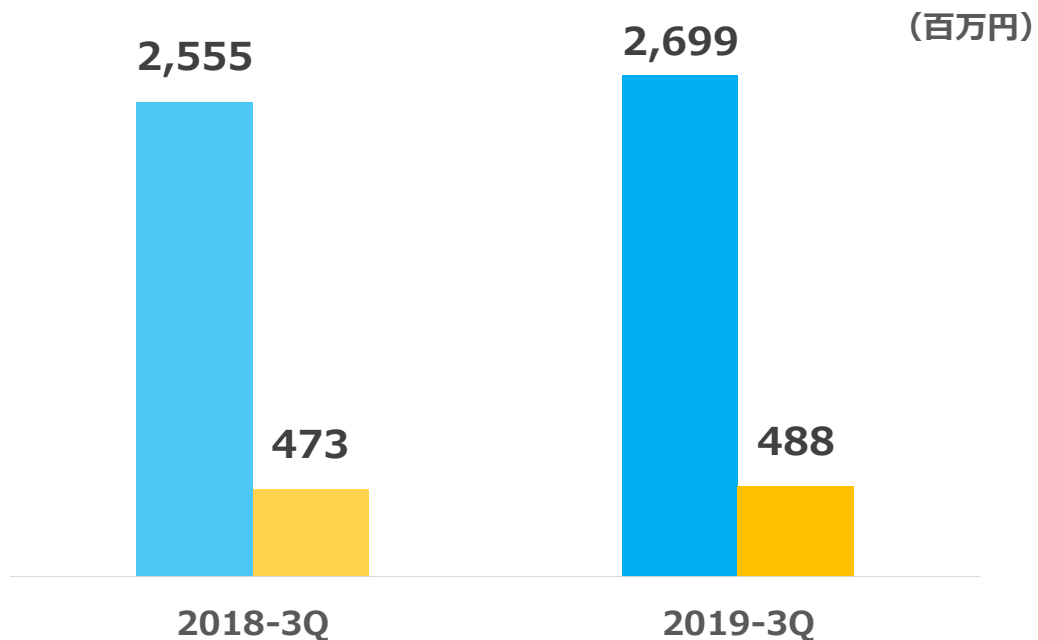
自社商材のシェア拡大を目指す

SMB向け新自社商材へ体制シフト

SMB向けの収益回復を目指す

売上・売上総利益とも前年同期超え。自社商材AkaNe・ReeMoの回復が貢献

前年同期比売上高(3Q) **105.6%**  
前年同期比売上総利益(3Q) **103.2%**



メディアネットワークの品質向上を目指し、自主的に広告掲載基準厳格化を進める

売上・利益の一時的な落込み

- ・業界全体の広告健全化への取り組み
- ・エージェンシー事業との連携

売上・利益回復傾向

今後の売上・利益成長を見込む

1

結論と要約

2

決算概要

3

事業概況

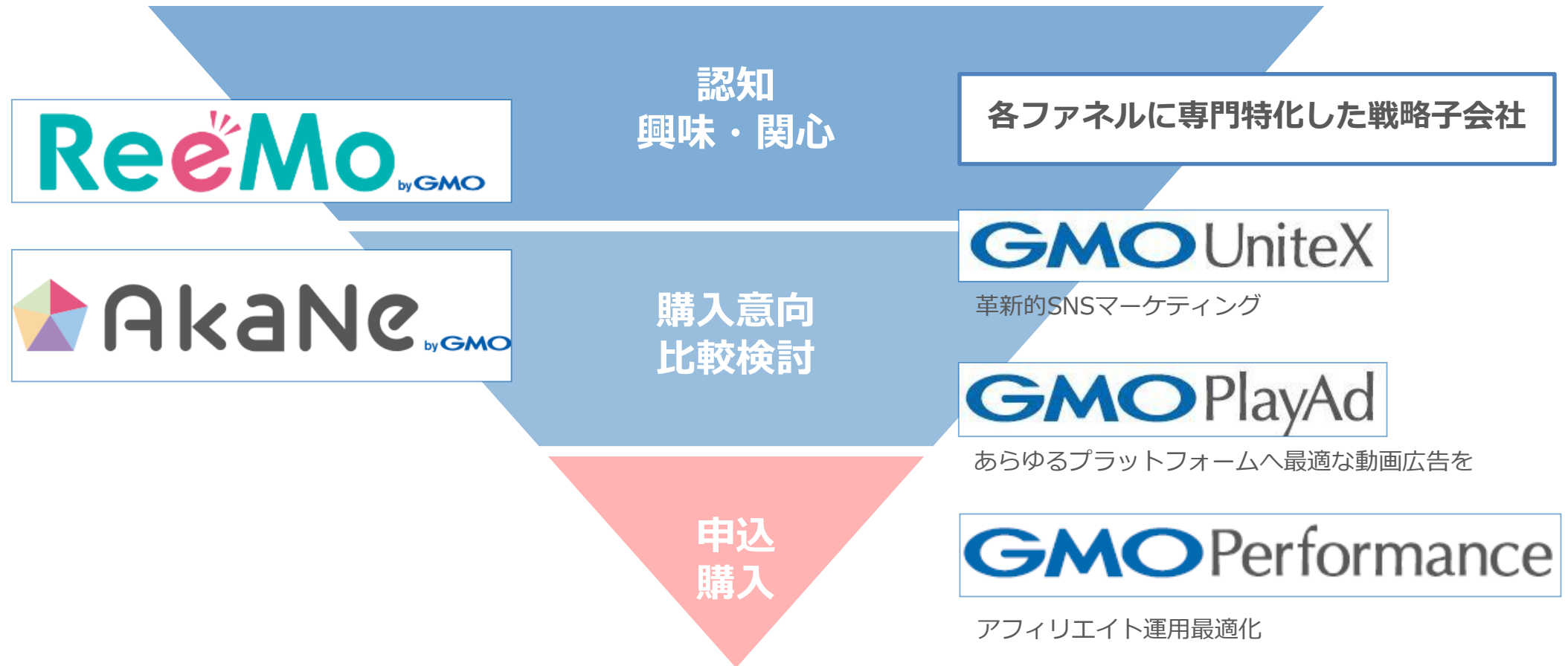
4

事業トピックス

5

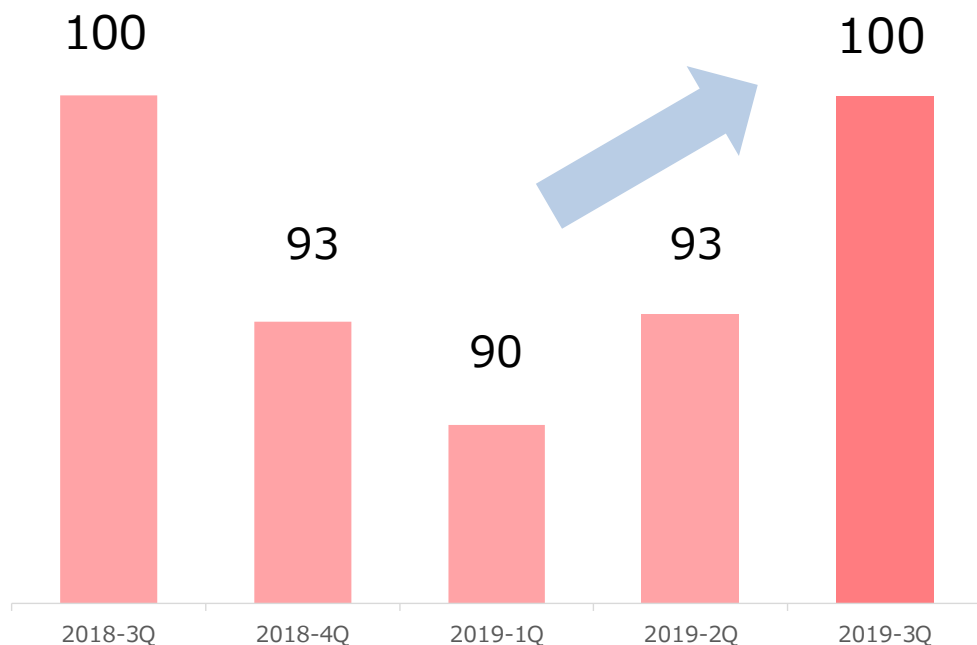
参考資料

フルファネル戦略が功を奏し、大手顧客からの需要取り込み順調に進む





売上前年同期と同水準まで回復。優良顧客獲得し、成長目指す



AkaNe・ReeMoの売上推移

(2018年第3四半期の売上を100とした場合)

売上減少期

広告掲載基準の厳格化実施。  
広告総量減少し、売上減少

売上回復期

広告健全化の推進や配信技術強化。  
良質な広告提供と売上回復を両立

売上成長期 (2019年4Q~)

引き続き配信技術・性能の向上を図りながら、  
優良顧客獲得し、成長を実現へ

1

結論と要約

2

決算概要

3

事業概況

4

事業トピックス

5

参考資料

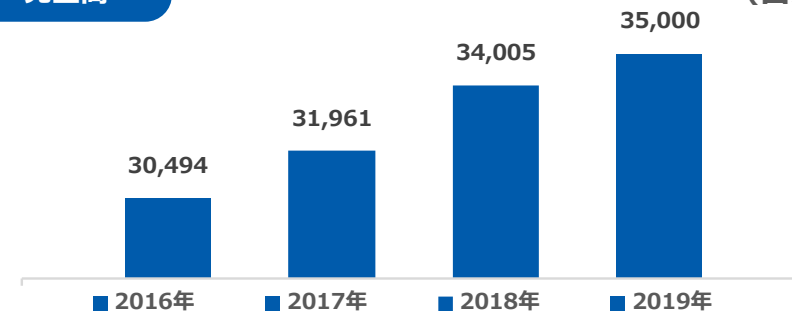
	2016年 12月末	2017年 12月末	2018年 12月末	2019年 予想
売上高	30,494	31,961	34,005	35,000
経常利益	275	558	561	550
当期純利益	▲ 21	163	235	295
純資産額	4,833	4,973	5,103	-
総資産額	10,668	10,130	11,106	-
自己資本比率(%)	42.2%	46.9%	43.8%	-
ROE (%)	▲ 0.5%	3.5%	4.9%	-
EPS (円)	▲ 1.29	9.90	14.35	-
PER (倍)	-	48.59	24.60	-
期末従業員数	611	572	576	-

(注) 1 期末従業員数は、各期末時点の正社員のみ数

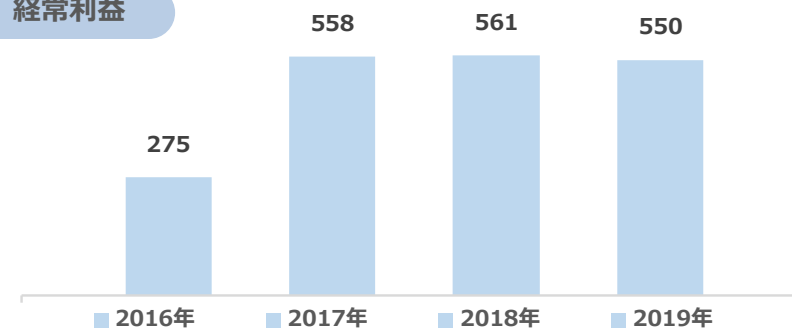
2 ROE・EPS・PERは2018年12月末の終値を基準として計算

## 売上高

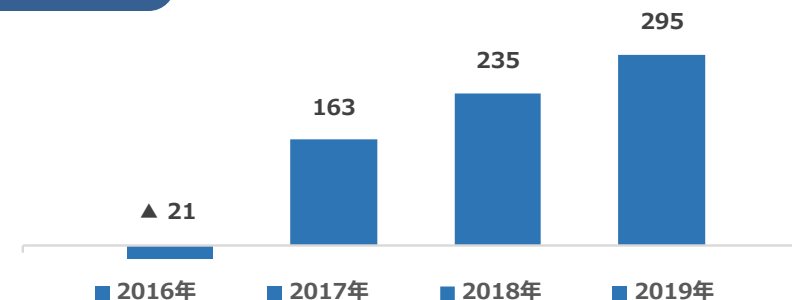
(百万円)



## 経常利益



## 当期純利益



## 本資料取扱い上のご注意

本資料は、当社の企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

また、本資料は2019年11月11日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

本資料に引用しております各社商標、著作物等知的財産権、並びに肖像権その他一切の権利は、当該知的財産権を有する各権利者並びにその権利の主体に帰属します。